

清閑亭より、渡辺です。

第三回 「南町で、財界・文人の別荘まち歩き」



ちょこっとリニューアル!

「まちの記憶」というフレーズはもう一般的ですが、これにはもちろん2つの意味があります。ひとつは私や誰かのその「まち」に対するメモリーズということ。このまちでこんな事があったよね、とい

うそれ。もうひとつは、「まち」そのもののがじーっと持っている記憶。あるいはふたつはずつと先で重なるのでしようけれど、特に後者の記憶を知りたい!という欲求を満たすもの、それがまち歩きなのではない

でしようか? 今回の南町、西海子(さいかち)界隈にもそんなまちの記憶があるはずです。記憶の力ケラを拾うまち歩き、出発です。

文… 渡辺剛治
(NPO法人小田原まちづくり応援団)
編… 編集部コメント



〔編〕 渡辺暁雲は高村光雲(高村光太郎のお父さん)の兄弟子だそうです! 〔正恩寺 MAP⑧〕浄土真宗のお寺です。実は母方の菩提寺なのでよくよく来ます。戦国武将大久保忠隣や作家の吉川英治ともご縁があるそうです。山門は鐘楼になっていますが鐘は先の大戦で供出され現存せず。本堂向拝(こうはい)の虹梁(こうりょう)の彫刻は私の曾祖父・渡辺暁雲(ぎょううん)が彫りました。庫裏付きのお庭も美しいです。



〔編〕 清閑亭で渡辺さん謹製「西海子界隈別邸」というのを配布します。 〔御幸の浜入口・野村靖別邸 香夢庵跡 MAP⑨〕野村靖がこの地に別邸をもったのは明治21年。野村はあまり知られていない政治家ですが、この人こそが小田原別邸ブームの火付け役でした。長州藩士の子で、松下村塾に学ぶ姿が大河ドラマにも登場します。とにかく野村の仲介があって伊藤博文は小田原に来た、そこから怒涛の小田原別邸ブームが巻き起こりました。



〔編〕 (注)端午の節句までは豆大福に代わり、柏餅を販売です。 〔菓子舗 右京 MAP⑩〕ひとしきり歩きましたね。小腹が減ったので、『菓子舗 右京』の豆大福を食べましょう。この店は『四季料理 右京』の隣にあって季節の棹菓子やどら焼きなど美味しいのです。



〔編〕 なんと、渡辺さんの奥様登場! お世話になります! 〔ゴール MAP⑪〕さて、特にこの西海子界隈まち歩きの醍醐味は、セカンドハウスライフを楽しんだそれその人物と、その関係を垣間見ることにあります。冒頭でも申しました、まち歩きはたとえばそのカケラを集め作業です。拾ったカケラを家に戻ってよく眺めたり並べ替えると、深度を増した驚きに出会えるはずです。まち歩きをきっかけにもっともっと小田原を楽しみましょう。ということまた次回。



〔編〕 白秋童謡館 MAP④ 文化館に隣接する和館は、田中光顕が色々な力を駆使して集めた良材で、関東大震災の翌年に建てられたとは思えない建物。二つの階段は護身用とも考えられます。現在は、小田原で600曲以上の童謡を作詩した北原白秋の資料館、『白秋童謡館』になっています。



〔御花畠から荒久へ MAP⑤〕童謡館の南門を出て右(西)の方へすすむと、荒久と呼ばれた海岸付近です。更に西には江戸時代、藩主の御浜御殿がありました。このあたりには海岸の玉石をつかった塀なども残っていますね。



〔編〕 男ひとり、往時の光景を思いを馳せました。 〔海岸リゾート別荘地 MAP⑥(御幸の浜)〕西洋の海水浴健康法が輸入されたのがつまりは明治20年代で、この界隈の別荘も健康志向型です。西から初代文部大臣森有礼、安田財閥の安田善次郎、三越本店を設計した横河民輔、そして伊藤博文別邸と立ち並び、それぞれのシーサイドライフが展開されました。



〔伊藤博文別邸 滂浪閣跡 MAP⑦〕すっかり寺町ですね。この海側付近に明治23年、伊藤博文が別邸滂浪閣を構えました。伊藤はここで日本最初の民法を起草し、その後大磯に移りますが、建物はそのまま養生館というリゾート旅館として使われました。が、その建物は明治35年の大海嘯(だいかいしょう)で壊れてしまいました。

〔編〕 左は編集部のお土産で買ってきた「菓子舗 右京」さんおすすめの竿菓子「御幸の浜」。関西風のあっさりとした上品な仕上がりで美味。右は、渡辺さんをドヤ顔にさせた「豆大福」。絶賛してました。



〔編〕 道端にちゃんと説明のバウチがありました。 〔サイカチの木 MAP①〕スタートは西海子の顔・『小田原文学館』! ……とその前に。そもそも西海子の名の由来をご存知ですか? このあたりは江戸時代、武家屋敷が立ち並び、巨大なトゲのあるサイカチの木が防犯用の生け垣として使われていたということです。



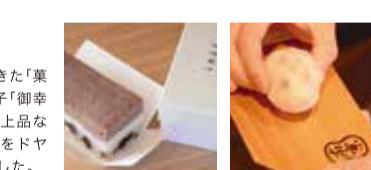
〔御花畠から荒久へ MAP⑤〕童謡館の南門を出て右(西)の方へすすむと、荒久と呼ばれた海岸付近です。更に西には江戸時代、藩主の御浜御殿がありました。このあたりには海岸の玉石をつかった塀なども残っていますね。



〔西海子一帯 MAP②(石碑)〕明治20年代から大きな敷地をほぼそのまま使った別荘地になりました。伊藤博文を筆頭とする政治家、三越の野崎幻庵など財界人、村井弦斎や谷崎潤一郎などの文人たちがこの一帯に居た構えました。



〔田中光顕 MAP③〕小田原ゆかりの文学者のことなら大体なんでもわかる『小田原文学館』。ここも元は宮内大臣田中光顕の別邸でした。特に白亜の洋館はスペイン風様式で、94歳の田中にも優しい傾斜のゆるい階段など随所にこだわりが伺えます。



似顔絵フィギュアをお店のマスコットにしませんか?



まずはお電話ください!

詳しく述べ WEBで! <http://www.bunkado.jp>

お問い合わせ・お申し込みは文化堂印刷株式会社「フィギュア係」

TEL.0465-34-9206(代)

AM10:00~PM5:00

文化堂印刷株式会社

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△